

令和6年度 第1回福井支部健康づくり推進協議会 議事概要

開 催 日	令和6年12月12日(木) 14:00~15:30
開 催 場 所	全国健康保険協会 福井支部 会議室
出席評議員	伊與、大野屋、川口、平工、松森(代理:欠戸)、山内、渡辺(五十音順、敬称略)
議 題	1. データヘルス計画に基づく保健事業の現状及び課題(I.特定健診・特定保健指導の更なる推進) 2. データヘルス計画に基づく保健事業の現状及び課題(Ⅱ.「血圧リスク保有者」割合の減少) 3. その他報告
議 事 概 要 (主な意見等)	事務局から各議題について資料に基づき説明 質疑・意見は以下のとおり 1.データヘルス計画に基づく保健事業の現状及び課題(I.特定健診・特定保健指導の更なる推進) 【事業主代表者】 健康保険委員とは具体的にどのような役割を担っているのか。事業所ごとに1名選ぶものなのか。 【事務局】 健康保険委員とは事業所と協会けんぽの橋渡し役として、さまざまな健康づくりの情報を社員に発信する役割を担っている。健康保険委員が社員の健診の予約や結果の取りまとめを行っている事業所も多い。協会からは、健康保険委員限定の広報誌の発行や講習会の開催など、健康づくりに関する情報やツールを提供している。基本的には、各事業所から1名の健康保険委員を登録する場合が多いが、登録人数の制限はなく、複数の健康保険委員を登録している事業所も存在する。 【健康保険委員代表】 例年、生活習慣病予防健診の年次案内は3月下旬に発送されているが、もう少し早めに提供はできないか。特に補助金額の変更等の重要な情報については、事前に把握することはできないか。 【事務局】 年次案内については、今年度も昨年度同様に3月下旬の発送を予定しているが、納入告知書や健康保険委員向けの広報誌を活用し、事前の案内を予定している。補助金額の拡大等の重要な情報については、さまざまな広報媒体を活用し、繰り返し発信していく予定である。スムーズな情報提供の観点からも健康保険委員の登録をお願いしている。

【議長】

嶺南地域の生活習慣病予防健診の実施率が低いのはなぜか。

【事務局】

敦賀市、美浜町等の嶺南地域については、健診実施機関が少ないことはもちろんであるが、嶺北地域居住者のように生活圏として他地域への移動が少ないことも要因と考えられる。短期的な解決は難しいと思われるが、今後も健診機関への働きかけや検診車を活用した巡回健診の充実等を通して、健診受診環境を整備していきたい。

【議長】

特に注目している事業や展望があれば、教えてほしい。

【事務局】

様々な施策を紹介したが、特に小規模事業所に対する取り組みの効果を期待している。福井県の特徴として、小規模事業所の割合が高いことが挙げられる。健康保険委員を活用した健康情報の発信等、様々なアプローチを通じて、小規模事業所に対する健康づくりに注力していきたい。

2. データヘルス計画に基づく保健事業の現状及び課題（Ⅱ. 「血圧リスク保有者」割合の減少）

【事業主代表】

血圧リスク保有者について、具体的な数値定義を教えてほしい。

【事務局】

収縮期血圧が130-139で、拡張期血圧が85-89に該当する対象者を指している。

【事業主代表】

福井支部に限らず、全国的に血圧リスク保有者の増加が見受けられるが、何か要因はあるのか。

【事務局】

現状、具体的な要因分析はできていないが、加齢に伴うリスク増加が考えられる。

【健康保険委員】

ウォーキングキャンペーンは次年度も計画しているのか。

【事務局】

開催時期については、改めて検討する予定だが、次年度も開催を予定している。

【議長】

データヘルスの観点から、中長期的にどのようなことを目標にしているのか。

【事務局】

福井支部の6ヵ年計画として、40歳以上から59歳の働き盛り世代の血圧リスク保有者の割合減少に注力している。具体的には、食のリテラシー向上と運動習慣の定着を目指していきたい。

【議長】

先日、小浜市の食のイベントに参加したとのことだが、小浜市は他の自治体と比較して、食に対する取り組みが進んでいるのか。

【事務局】

小浜市は地元のスーパー等と連携し、減塩メニューを展開している。小浜市に限らず、福井県内の多くの市町村が食と運動をテーマに様々な取り組みを行っている。福井県も「歩行」と「減塩」を最重点要素として、施策を展開しており、「食」と「運動」が福井県全体の健康づくりのポイントになっていくと思われる。

【議長】

「食」と「運動」の観点から、県から何か意見はあるか。

【行政代表者】

県においても、「歩行」と「減塩」を最重点要素としている。「歩行」については、予算が割り当てられれば、次年度もアプリを活用したウォーキング事業を展開したいと考えている。「減塩」については、高血圧リスクが増加している地域が多い中で、反対にリスクが減少している地域も見受けられる。協会けんぽにおいても可能ならば地域ごとの要因分析を行い、施策を展開していくと良いと思う。

3.その他報告

【保健医療関係者】

令和7年度の施策として、がん検診の要精密検査・要治療対象者に対する受診勧奨の実施との記載があるが、そもそも要精密検査・要治療対象者とは医療機関を受診するのが当然であり、受診勧奨を実施する意図が分からない。

【事務局】

ご指摘のとおり、本来、要精密検査・要治療対象者とは医療機関を受診する流れが正しいが、現状、該当しても、受診しない方が一定数存在しているのが事実であり、令和7年度から受診勧奨を実施していく。

【保健医療関係者】

歯科医師会の新しい取り組みとして、被扶養者の集団健診会場での歯科健診の実施を予定している。歯の本数が食の健康に影響し、結果的に身体全体の健康にも影響するため、歯の健康づくりは肝要である。

【事務局】

前述のとおり、今年度の冬から歯科医師会様と連携して、被扶養者の集団健診会場での無料歯科健診の実施を予定している。歯科医師会様のご尽力のおかげで、冬の集団健診の全7会場において、歯科医師を派遣していただけることとなった。この場をお借りして、改めて感謝の意を表したい。

以上

特記事項

・なし